

一億百万光年先に住むウサギ

那須田淳 著

理論社

所蔵館：中央 請求記号：913ナ

NO IMAGE

ちょっとあじみ

翔太は隣の便利屋サスケ堂を手伝い、週に一度、足立先生の家で家事手伝いサービスをしている。足立先生はドイツ文学の元教授。ドイツには恋人たちが大きな榎の木で、手紙を交換し恋を成就させたという恋樹伝説があり、その話を聞いた少女と、この町の古い桜の樹で恋の相談役として手紙のやりとりをしているのだという。しかし、手首を傷めたため、翔太が代筆をすることに…。その手紙の少女はサスケ堂の娘のケイだった…。

翔太とケイは、まわりの大人たちのさまざまな人生や、自分に向き合うことで、いろんなことを学び、気付いていきます。人と人との出会い、つながり、そして初恋…。

登場人物や街の雰囲気も魅力的です。

NO IMAGE

夢のつづき

那須田淳 作 かるべめぐみ 絵

ひくまの出版

所蔵館：勝連 請求記号：913.6ナ

NO IMAGE

星磨きウサギ

那須田淳 作 吉田稔美 絵

理論社

所蔵館：石川 請求記号：913ナ

ちょっとあじみ

地球に派遣された、「星磨きウサギ」。夜空の星をひとつだけあなたのために磨きます。磨けるのは一生にただ一度きり。磨いた星が輝いたら…

『一億百万光年先に住むウサギ』から生まれた物語

ちょっとあじみ

土曜日、絵画教室へ向かうバスのなかで出会うどこかさびしげな女の子、リカ。口をきいたことは一度もない。知っているのは、偶然知った名前と同じ歳ということだけ。でも、それだけでいい。ぼくが眠ればいつも、夢の中で会える。2人で星の世界を飛んでいる。ぼくは、毎日、一枚ずつリカと見た風景を水彩画にして、夢日記をつける。「今晚も、リカに会えますように…」でも、リカはその夜、思いもよらないことを言い…